

# フィリピンの子供図書館支援を

## 17日、ミンダナオデー 活動報告やバザー

カトリック行橋教会

にも活動を広げ、資金も必要としている。このため教会と隣接する行橋カトリック幼稚園や信者らで作るミンダナオ支援「Mの会」とともにミンダナオデーを企画した。

11時半からはバザーがあり、収益は松居さんに託すという。また、午後1時には、

訪問して子供たちと交流した山元神父は「小学生から高校生まで60人が自ら食事を作って生活している。貧困な地域に目を向け、できる支援に取り組んでほしい」と来場を呼びかけている。

中東など世界各地で医療救済に取り組む山形市の精神科医、桑山紀彦さんがギター演奏しながら活動報告をする。

桑山さんの報告はコンサート形式のため、入場料1500円が必要(前売り制)。問い合わせは、同教会0930・22・0805。

【降旗英峰】

フィリピン・ミンダナオ島の子供図書館の支援に取り組む行橋市門樋町のカトリック行橋教会(山元眞神父)は17日、図書館の活動を

紹介して支援資金を作る「ミンダナオデー」を開く。午前11時から図書館を紹介するDVDを上映し、図書館設立者で元絵本編集者、松居友さんが現況を説明する。

図書館はフィリピン最高峰のアポ山ろくに

ある。貧困に苦しむ山岳民族や紛争で生じた難民の子供が生活し、勉強する福祉教育施設として利用されている。日本の慈善団体の寄付で運営されており、子供たちは自ら野菜を育てている。

教会は05年、一時帰国した松居さんの報告

会を開いた縁で支援を始めた。チャリティーコンサートやオリジナルTシャツ販売などで資金を作り、これまでも約400万円を寄付している。

図書館は高校・大学生への奨学金支出や、子供を養育する里親支援のほか、保育所建設



ミンダナオ島の子供図書館から通学する少女たち  
――ミンダナオ支援「Mの会」提供